

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月13日

上場会社名 株式会社 アドテック

上場取引所 東

コード番号 6840 URL <http://www.adtec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小野 鉄平

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 五十嵐 英

TEL 03-5427-6901

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 未定

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|---|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 26年3月期第3四半期 | 1,941 | — | △32 | — | △41 | — | △42 | — |
| 25年3月期第3四半期 | — | — | — | — | — | — | — | — |

(注)包括利益 26年3月期第3四半期 △43百万円 (—%) 25年3月期第3四半期 ー百万円 (—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円銭 | 円銭 |
| 26年3月期第3四半期 | △5.07 | — |
| 25年3月期第3四半期 | — | — |

※平成26年3月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成25年3月期の数値については記載していません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|-------|-----|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円銭 |
| 26年3月期第3四半期 | 1,687 | 943 | 55.9 | 111.71 |
| 25年3月期 | — | — | — | — |

(参考)自己資本 26年3月期第3四半期 943百万円 25年3月期 ー百万円

※平成26年3月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成25年3月期の数値については記載していません。

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円銭 | 円銭 | 円銭 | 円銭 | 円銭 |
| 25年3月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 26年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 26年3月期(予想) | — | — | — | 0.00 | 0.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|-------|---|------|---|------|---|-------|---|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円銭 |
| 通期 | 2,900 | — | △10 | — | △10 | — | △20 | — | △2.36 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※平成26年3月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率は記載していません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
 (注) 詳細は添付資料P.3「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|-------------|----------|--------------|
| 26年3月期3Q | 8,448,484 株 | 25年3月期 | 10,266,720 株 |
| 26年3月期3Q | 300 株 | 25年3月期 | 1,818,536 株 |
| 26年3月期3Q | 8,448,184 株 | 25年3月期3Q | 9,361,653 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は完了しておりますが、この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 継続企業の前提に関する重要事象等 | 3 |
| 4. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、第1四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期累計期間及び前連結会計年度末との比較分析は行っておりません。

なお、平成25年5月30日に当社100%出資で設立いたしました「株式会社エッジクルー」を第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

また、当第3四半期連結会計期間において、株式会社ティームエンタテインメントの株式を新たに取得したため、同社を連結の範囲に含めております。なお、平成25年12月31日をみなし取得日としたため、当第3四半期連結累計期間は、貸借対照表のみを連結しております。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アベノミクスと円高修正により製造業を中心に緩やかな景気回復が持続しておりますが、今後は4月の消費増税に伴う消費の落ち込み等の景気変動要因もあり、先行き不透明な状況が続いております。

当社企業グループは、主力製品であるメモリ製品の販売においては、原材料価格の高騰、円安の影響により原価率が上昇しているものの、Windows XPパソコンの買い替えに関わる需要の増大により、売上高は大きく伸びております。また、M&Aを通じた新規事業領域への進出により、新たな収益基盤の構築を図ってまいりました。

こうした状況の中、当第3四半期連結累計期間の売上高は、1,941百万円となりました。しかしながら売上原価の上昇もあり、売上総利益については158百万円となりました。販売費及び一般管理費は、削減に努め190百万円となり、営業損失は32百万円、経常損失は41百万円、四半期純損失は42百万円となりました。

セグメント業績は、次のとおりであります。

①メモリ製品製造販売事業

当第3四半期連結累計期間の売上高は1,913百万円、セグメント損失は18百万円となりました。

②ウェブソリューション事業

当第3四半期連結累計期間の売上高は27百万円、セグメント損失は13百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は1,393百万円となりました。

主な内訳は、現金及び預金が558百万円、受取手形及び売掛金が583百万円、商品及び製品が99百万円となっております。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は294百万円となりました。

主な内訳は、有形固定資産が16百万円、のれんが240百万円となっております。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は640百万円となりました。

主な内訳は、買掛金が355百万円、短期借入金200百万円となっております。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は103百万円となりました。

主な内訳は、長期借入金57百万円、退職給付引当金が16百万円となっております。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は943百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年12月20日に公表いたしました業績予想から修正はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結会計期間において、株式会社ティームエンタテインメントの株式を新たに取得したため、同社を連結の範囲に含めております。なお、平成25年12月31日をみなし取得日としたため、当第3四半期連結累計期間は、貸借対照表のみを連結しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

簡便な会計処理

棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては実地棚卸を省略し、前事業年度末の実地棚卸高を基準として合理的な方法により算出する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | | 当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日) |
|------------|-----------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 558,557 | |
| 受取手形及び売掛金 | 583,744 | |
| 商品及び製品 | 99,844 | |
| 仕掛品 | 19,902 | |
| 原材料及び貯蔵品 | 76,670 | |
| その他 | 57,423 | |
| 貸倒引当金 | △3,120 | |
| 流動資産合計 | 1,393,021 | |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 16,833 | |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 240,390 | |
| その他 | 5,135 | |
| 無形固定資産合計 | 245,525 | |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 102,022 | |
| 貸倒引当金 | △69,562 | |
| 投資その他の資産合計 | 32,460 | |
| 固定資産合計 | 294,819 | |
| 資産合計 | 1,687,840 | |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 355,301 | |
| 短期借入金 | 200,000 | |
| 未払法人税等 | 3,061 | |
| 賞与引当金 | 3,898 | |
| 返品調整引当金 | 12,359 | |
| その他 | 66,274 | |
| 流動負債合計 | 640,895 | |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 57,989 | |
| 退職給付引当金 | 16,220 | |
| 資産除去債務 | 2,704 | |
| その他 | 26,275 | |
| 固定負債合計 | 103,189 | |
| 負債合計 | 744,084 | |

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間
(平成25年12月31日)

| | |
|---------------|-----------|
| 純資産の部 | |
| 株主資本 | |
| 資本金 | 700,000 |
| 資本剰余金 | 297,735 |
| 利益剰余金 | △54,070 |
| 自己株式 | △24 |
| 株主資本合計 | 943,640 |
| その他の包括利益累計額 | |
| 繰延ヘッジ損益 | 115 |
| その他の包括利益累計額合計 | 115 |
| 純資産合計 | 943,755 |
| 負債純資産合計 | 1,687,840 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日) |
|--------------------|--|
| 売上高 | 1,941,214 |
| 売上原価 | 1,783,090 |
| 売上総利益 | 158,124 |
| 販売費及び一般管理費 | 190,255 |
| 営業損失(△) | △32,131 |
| 営業外収益 | |
| 受取利息 | 80 |
| 受取配当金 | 254 |
| 雑収入 | 3,803 |
| 営業外収益合計 | 4,138 |
| 営業外費用 | |
| 支払利息 | 468 |
| 為替差損 | 13,248 |
| 雑損失 | 15 |
| 営業外費用合計 | 13,731 |
| 経常損失(△) | △41,724 |
| 特別利益 | |
| 貸倒引当金戻入額 | 395 |
| 投資有価証券売却益 | 832 |
| 特別利益合計 | 1,227 |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △40,496 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 2,689 |
| 法人税等調整額 | △294 |
| 法人税等合計 | 2,395 |
| 少数株主損益調整前四半期純損失(△) | △42,891 |
| 四半期純損失(△) | △42,891 |

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

| | 当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日) |
|-----------------|--|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | △42,891 |
| その他の包括利益 | |
| その他有価証券評価差額金 | △354 |
| 繰延ヘッジ損益 | 69 |
| その他の包括利益合計 | △285 |
| 四半期包括利益 | △43,177 |
| (内訳) | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △43,177 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

平成25年4月1日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式を消却することを決議し、平成25年4月19日付けで実行いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式と資本剰余金がともに244,121千円減少しております。

自己株式の消却の内容

- (1) 消却する株式の種類 当社普通株式
- (2) 消却する株式数 1,818,236株
- (3) 消却後の発行済株式総数 8,448,484株 (消却前発行済株式総数に対する割合 17.71%)
- (4) 消却日 平成25年4月19日

(セグメント情報等)

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 | 四半期連結損益 計算書計上額 (注) |
|-----------------------|-----------------|--------------|-------------|-----------|------|--------------------------|
| | メモリ製品製造 販売事業 | ウェブソリューション事業 | コンテンツ 事業 | 小計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客へ売上高 | 1,913,753 | 27,461 | — | 1,941,214 | - | 1,941,214 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 90 | 493 | — | 583 | △583 | — |
| 計 | 1,913,843 | 27,954 | — | 1,941,797 | △583 | 1,941,214 |
| セグメント損失(△) | △18,329 | △13,801 | — | △32,131 | — | △32,131 |

(注) セグメント損失は四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第3四半期連結会計期間において、株式会社ティームエンタテインメントが連結子会社となったため、連結の範囲に含めております。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第3四半期連結会計期間末のコンテンツ事業の資産の合計は、連結のれんも含めまして、446,133千円増加しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは第1四半期連結会計期間以前は「メモリ製品製造販売事業」のみの単一セグメントでありましたが、第1四半期連結会計期間に当社100%出資で株式会社エッジルーを設立し連結対象にしたことに伴い「ハードウェアインテグレーション事業」「ウェブソリューション事業」を報告セグメントといたしました。

第2四半期連結会計期間において、「ハードウェアインテグレーション事業」と「ウェブソリュ

ーション事業」を一体化しての事業展開および社内管理に変更したことにより、報告セグメントも同様に「ウェブソリューション事業」として統合いたしました。また、当社は平成25年12月26日に株式会社ティームエンタテインメントを買収いたしました。これに伴い、当第3四半期連結会計期間より「メモリ製品製造販売事業」「ウェブソリューション事業」「コンテンツ事業」の三つの報告セグメントとしております。

なお、当第3四半期連結会計期間末をみなし取得日としたことから、株式会社ティームエンタテインメントは、当第3四半期連結会計期間末日時点での貸借対照表のみを連結しております。そのため、「1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報」において報告セグメントの「コンテンツ事業」に金額は記載しておりません。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「ウェブソリューション事業」セグメントにおいて当該事業を開始するにあたり、ウェブソリューション事業部門を買収いたしました。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において15,000千円であります。

また、「コンテンツ事業」セグメントにおいて当該事業を開始するにあたり、株式会社ティームエンタテインメントを買収いたしました。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において227,140千円であります。